

大分県災害中間支援組織設立準備会 第一回会議 実施報告書

◆ 実施概要

日時 令和7年 4月18日(金) 15:00~17:00
場所 J:COM ホルトホール大分(405会議室) および ビデオ会議システム「Zoom」

◆ 参加者 (順不同)

[会場] 11 団体・個人

- ・大分市キャンプ協会(中内、大津)
- ・合同会社ヘリテイジマネジメント(齋藤)
- ・NPO 法人子育て応援レストラン(若林)
- ・NPO 法人大分県ノルディック・ウォーク連盟(内田)
- ・NPO 法人子育て応援ワクワクピース(漆間)
- ・NPO 法人大分県防災活動支援センター(遠山)
- ・NPO 法人まど(中村)
- ・NPO 法人ブンブンマート(山田)
- ・NPO 法人 SAVA SPORTS CLUB(近江)
- ・大分市女性防災士会(上山)
- ・(個人)西嶋しのぶ
- ・【事務局】NPO 法人おおいた NPO デザインセンター(山下、高橋、井上)
- ・【行政】大分県生活環境部 協働・共助推進室(朝久野、谷口、矢野、神志那)
- ・【行政】大分県生活環境部 防災局防災対策企画課(蓑田)

[オンライン] 3 団体

- ・TOVS(加嶋、宇野)
- ・NPO 法人住むケアおおいた(三宮)
- ・発達障害の自助グループ@はーもにあかふえ(山中)

◆ 議事等の進行

15:00	開会	(事務局・山下)
	挨拶	(大分県協働・共助推進室長・朝久野)
15:05	これまでの経緯の説明	(事務局・山下)
	組織として取り組むこと	(事務局・山下)
15:20	参加団体・個人 自己紹介	
	・活動内容、支援対象者、組織への期待	など
16:00	令和7年度 年間行程説明	(事務局・山下)
	規約案読み合わせ	(事務局・山下)
16:25	全体意見交換	
	・体制(役員の選出等)や運営課題について	
	・参加団体の地域の課題	など

16:55 次回の議題と日程について (事務局・山下)

17:00 散会 (事務局・山下)

◆ 意見・質疑

- 他団体へ当組織を紹介する際、本日の資料は公開してよいのか？

【回答】資料は公開してもよいが、事務局に一報いただくと把握がしやすい。門戸を狭めることはせず、どんどん参画してもらいたい。

- 規約案では会費が5,000円に設定されている。我々NPOの大半は会費や寄付金等で活動しているため、5,000円は高額すぎるのではないか。徴収するのであれば、実働部隊の会費は1,000円程度にし、別途賛助会員を募ることで資金を確保していく方がよいのでは。

【回答】5,000円という額はあくまでも暫定的な額であり、これから議論していきたい。

- ひとたび発災した際、防災局は復旧復興で手一杯となる。我々(県)が吸い上げた情報は逐次提供するが、事務局としては発災時にこの組織をどのように動かすと考えているのか？

【回答】社協が運営するボランティアセンターと連携させてもらい、どういう支援が必要なのかを吸い上げ、情報共有会議を開催したい。令和2年の豪雨の際、社協も被災しており、その中で実働するのはかなり大変だった。ボランティアセンターの運営の支援も当組織で行いたい。

- 我々NPOは、行政と社協が手を出すことができない「隙間」を埋めるために活動している。そのためには、自治体・地域住民等の理解は必須。この組織が発足したことを広く周知し、理解を求めてほしい。
- 役員の選出は、県下各地域から選出したほうがよいのでは。
- 能登半島地震の際に、現地の中間支援組織が情報共有会議に参加させてもらえなかった。大分ではそういうことがないように、平時より連携ができる体制を構築してほしい。

◆ 会議写真



◆ 総括

- アンケートで構成員に希望した団体・個人の約半数が集まり、第1回会議を開催できた。都合により欠席した団体・個人には、このレポートおよび動画配信により様子を確認していただくなど配慮し、参画団体・個人が同じ意識で設立に向きたいと思う。
- 次回第2回会議では、本日いただいた意見を規約や活動内容に反映し、検討を重ねていきたい。